

「新装・改訂版「さとり」とは何か、

——十年前、大好評をいただいた書の新装版

新装版

さとりと日本人

食・武・和・徳・行

頼住光子

2024年5月24日刊行予定 四六判・並製 256頁 本体定価1800円 SBN978-4-910154-55-8 C0015



「さとり（証）」ってなんだろう。精進料理と茶の湯、武士の思想と和の精神、聖徳太子と千利休、道元、一遍、盤珪……「さとり」の光をもって、日本人および日本文化の根を照らし出す。

自我への囚われを去って、すべてが互いに関係し合い、はたらき合う世界に生きること——無自性 - 空 - 縁起。食物連鎖を離れることも、武士の倫理も、聖徳太子の和の思想も、利休の茶の精神も、そして浄土思想も、すべてここにルーツをもっていた。

「今ここ」に生きつつ、空 - 縁起の風光に賭ける。私たちを生かしているものの消息に開かれてありながら、それは狭隘な自我・自民族中心主義とは、およそ懸け離れてあったものだ。

頼住光子（よりずみ・みつこ）

1961年，神奈川県生まれ．専攻，日本倫理思想史．91年，東京大学大学院人文科学研究科博士課程修了．お茶の水大学大学院教授を経て，2013年より，東京大学大学院人文科学研究科教授．現在，東京大学・国際日本文化研究センター名誉教授．著書，『道元——自己・時間・世界はどのように成立するのか』（2005年），『日本の仏教思想——原文で読む仏教入門』（2010年），『道元の思想——大乘仏教の真髓を読み解く』（2011），『正法眼蔵入門』（2014）ほか．

終章	共生の根拠	佛教・儒教・神道
第五章	「修行」から「修養」へ	日本仏教の中世と近世
第四章	徳という思想	
第三章	和とは何か	「和を以て貴しと為」と「和敬清寂」
第二章	武士の思想と仏教	
第一章	食と仏教	

目次

Fax. 03-5228-5843

新装版 さとりと日本人
食・武・和・徳

46判・256頁 本体定価1800円
ISBN978-4-910154-55-8 C0015

貴店印

注文

ぶねうま舎

冊